

BTM P ビット パリティ・エラー

目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[エラー定義](#)

[エラー例](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

[はじめに](#)

このドキュメントでは、ブロードバンド トランク モジュール (BTM) パリティ ビット (P ビット) エラーについて説明し、このエラー メッセージのトラブルシューティング手順を紹介し

ます。

[前提条件](#)

[要件](#)

このドキュメントに関しては個別の要件はありません。

[使用するコンポーネント](#)

これらの情報は T3 インターフェイス・カードの Cisco IGX™ BTM に適用します。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

[表記法](#)

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

[エラー定義](#)

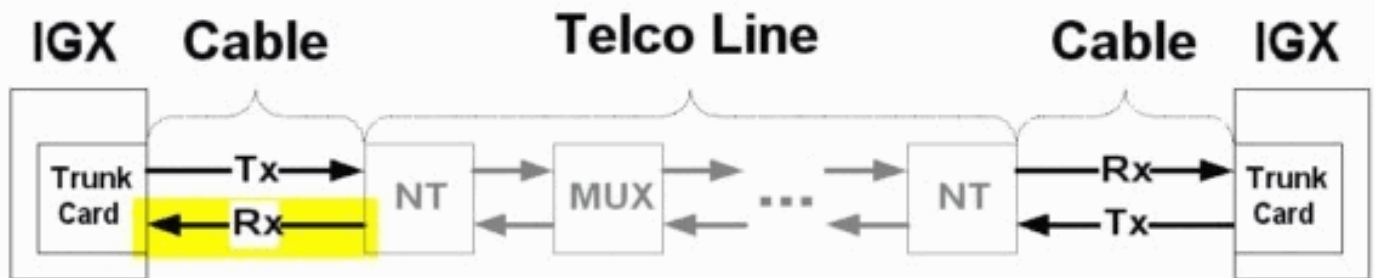
P カウンター インサービス ビットエラーが伝達の間に受け取られたことを示します。 デジタル

信号レベル 3 (DS3) フレームでパリティ 情報が含まれている 2 つの P ビットがあります。 P ビットはサブ フレーム 3 および 4 のブロック 1 の最初のビットポジションにあります。 DS3 出典は DS3 フレームの最初の X ビットの後ですべての DS3 情報ビット上のパリティを計算します。 計算されたパリティ 情報はそれに続くフレームの 2 つの P ビットで挿入されます。 両方の P ビットの値は同じ常にです。 P ビットは両方とも 1 に前の DS3 フレームは物の奇数が含まれていた場合、設定 されます; P ビットは両方とも 0 に前の DS3 フレームは物の偶数が含まれていた場合、設定 されます。 P ビットが DS3 パスの各ファシリティ セクションによって再評価されるので、エンドツーエンドからのパスを監視する方法を提供しません。

エラー例

機器エラーの本当らしい場所はこのダイアグラムの黄色で強調表示されています:

P ビット パリティは誤ります



- NT — ネットワーク終端
- MUX — Telco回線 パスのマルチプレクサ。
- Rx — レシーブ
- Tx — 送信

トラブルシューティング

このセクションのトラブルシューティングの操作は埋入的です。 Maintenance ウィンドウでこれらのステップをこの場合だけ実行して下さい:

- ユーザトラフィックは影響を受けています
- `dsptrks` コマンド出力はトランクが `clear-OK` ステータスにないとき誤り状態がまだ持続することを、のような示したものです

トランクの両端は解決するときアクティブである必要があります。

1. `dsptrks` コマンドを実行して、トランクがアクティブであることを検証します。 トランク番号が `dsptrks` コマンド出力で表示されない場合、トランクは非アクティブです。 トランクをアクティブにするには、 `uptrk` コマンドを発行します。
2. BTM と次のデバイス アップストリーム間のケーブル接続をチェックして下さい。 通常、次のデバイス アップストリームはローカル ネットワーク終端 (NT) です。 ローカル ケーブル接続を BTM インターフェース・カードに接続されて残して下さい、しかし NT から取除いて下さい。 適切な BNCコネクタによって、ローカル BTM インターフェース・カードにそれをループバックするために開いたケーブルのレシーブ (Rx) コネクタに transmit (tx) コネクタを、接続して下さい。 または、顧客宅内機器 (CPE) のローカル トランク モジュール側のメタリック ループにローカル NT を配置します。 この例では、CPE は Cisco IGX BTM インターフェース・カードです。 `dsptrks` コマンド出力のトランクステータスが `clear-`

OK に変更し、**dsptkerrs** コマンドがもはやインクリメンタル エラーを示さなければ、ケーブルおよびローカル トランクモジュールはきちんと機能しています。ステップ 3.に進む前に **dsptkerrs** コマンドの出力を数分間監視して下さい。トランクステータスが clear-OK に変更しないか、または **dsptkerrs** コマンドがインクリメンタル エラーを示し続けたらステップ 2.を繰り返して下さい。

- ローカル ハードウェアをチェックするために BTM のインターフェース・カードにコネクタにループバック ケーブルを、置いて下さい。 **dsptkrs** コマンドの出力のトランクステータスが clear-OK に変更し、**dsptkerrs** コマンド出力がもはやインクリメンタル エラーを示さなかったもので、BTM およびインターフェース・カードはきちんとはたらいています。少なくともトランク ステータス 変更を確認する **cnftrkparm** コマンドのタイマー 設定より 10 秒長く待って下さい。ケーブル接続を交換し、**dsptkerrs** コマンド出力がもはやインクリメンタル エラーを示さなかったものですかどうか確かめて下さい。
- ローカル NT をチェックして下さい。NT が Telco プロパティである場合、それをテストするために Telco を頼んで下さい。

トラブルシューティングの手順を実行した後問題が持続したら、シスコシステムズ テクニカル サポートに連絡して下さい:

- 電話 : (800) 553-24HR または (408) 526-7209
- Webサイト: [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)
- 電子メール : tac@cisco.com。

関連情報

- [国際電気通信連合 \(ITU \) 勧告 G.704](#)
- [Software Center : WAN スイッチング ソフトウェア](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)